

MARSHALL ISLANDS

マーシャル諸島共和国

美しいサンゴ礁の島々を巡り、
太古のささやきを聞こう

オーストラリアとハワイの中間に位置し、小さな島が織りなすサンゴ礁が美しいラグーンを描くマーシャル諸島。首都があるマジュロ環礁は多くの小島が広がり、その風光明媚な楕円形の島は全長100km。横幅は最大で2kmほどの細長い島は太平洋の海を存分に感じられます。マーシャル諸島では美しいラグーンで楽しむダイビングやシュノーケリングは言うまでもなく、伝統的なカヌーに揺られたり、スモールアイランズでのバーベキューを楽しんだり、穏やかなひとときを過ごすことができます。

マジュロから足を延ばして離島の環礁を訪れば、新たな景色が迎えてくれます。その一つ、ビキニ環礁は核実験の歴史とともに知られ、2010年には世界遺産にも認定されました。

この楽園で、美しい自然に身をゆだねてみませんか。



渡航経路例

成田⇒グアム(アメリカ)⇒チューク(ミクロネシア連邦)⇒ポンベイ(ミクロネシア連邦)⇒クワジェリン(マーシャル諸島)⇒マジュロ(マーシャル諸島)

満喫プラン

初級モデルコース 細長いマジュロ環礁でのんびり楽しもう!

- 1日目
- AM ● 前日に日本を出発してグアムで一泊
 - PM ● グアムを朝に出てチューク、ポンベイなどを經由してマジュロには夜に到着! 近海でとれる新鮮な魚介類の夕食に舌鼓。刺身など日本人になじみ深い魚料理も
- 2日目
- All day ● マジュロ郊外のローラ地区に訪問! 波のない穏やかな浅い海がどこまでも広がるローラビーチ公園 昼はローカルフードを楽しみながら、のんびり過ごそう
- 3日目
- AM ● マジュロの街を散策! アレレ博物館に立ち寄って、マーシャルの文化や歴史への理解を深めてみよう
 - PM ● 太平洋で最も美しいと言われるマーシャルの伝統的なカヌー、古くから交通手段として使われていたカヌーに乗って自然の風を感じてみよう
- 4日目
- AM ● 出発までは空港のターミナル内にあるハンディクラフトショップでお買い物 日本語由来の「アミモノ」と呼ばれる美しいハンディクラフトはヤシやパングナスの葉を編んで作られたもの マジュロを出発し、グアムへ。グアムで一泊した後、日本へ帰国



堪能プラン

中級モデルコース 足を延ばして離島まで! 透明度の高い海やアクティビティを満喫!

- 1日目
- AM ● 前日に日本を出発してグアムで一泊
 - PM ● グアムを朝に出てチューク、ポンベイなどをアイランドホッピングして夜にマジュロに到着
- 2日目
- All day ● マジュロ環礁内のスモールアイランズへ! 宿泊して美しい星空の下、優雅な時間を過ごそう 53のサンゴ島からなるマジュロ環礁では、町の中心部からポートで10-20分で行ける小島がいくつも。美しいサンゴの中を泳ぐカラフルな魚を観察できるシュノーケリング、カヤックなどを楽しもう!
- 3日目
- AM ● スモールアイランズのビーチでのんびりとした時間を過ごしたら、再びマジュロへ
 - PM ● ランチを食べたら、マジュロの街を散策しよう
- 4日目
- All day ● マジュロから最も近い離島・アルノ環礁へ日帰りトリップ! さらに透明度の高い海で、ダイビングやシュノーケリングを楽しもう! マジュロ⇄アルノ環礁間のポートは現地で要チェック アルノ環礁で宿泊する場合余裕を持ったスケジュールが重要
- 5日目
- AM ● マジュロ郊外のローラ地区に訪問! 地元の人たちにも人気のピクニック場であるローラビーチ公園でココナッツドリンクを飲みながら、のんびり過ごそう
 - PM ● マーシャル諸島の主要産業であるコブラの製造工場の見学へ 離島から運び込まれたコブラでココナッツオイルやココナッツ石鹸を作る過程を見学でき、製品をお土産として購入することもできる
- 6日目
- All day ● 豊かな漁場でフィッシング体験! 地元のベテラン漁師と共に海に出れば大きなカジキに出会うチャンスがあるかもしれない。釣った魚は船上で刺身に、もしくはホテルや町中のレストランに持ち込んで料理してもらおう!
- 7日目
- AM ● マジュロからグアムに出発。翌日日本へ帰国 もっと楽しみたい! という場合は、経由地であるミクロネシア連邦の訪問も検討してみてください!



Activity

伝統的なカヌー乗船

サンゴ礁の島々からなるマーシャル諸島では古くからカヌーが生活の足として使われてきました。ボートや飛行機など近代的な乗り物が主流になった今も、離島を中心に漁や島間移動に使用されています。伝統的なカヌーの航海士たちは、波の角度や島の飛ぶ方向、星を目印に航海をしたといいます。その際に使われた「ステックチャート」と呼ばれるヤシの葉などの棒を組み合わせた海図が今も受け継がれています。帆に受ける風という自然の力のみに進むカヌーで美しい海上を体験してみませんか。



Food

シーフード

海に囲まれたマーシャル諸島では魚を使ったローカルフードが多くあります。かつて日本の統治下にあった影響で、魚を醤油とわさびにつけて刺身として楽しむ食文化も。さらに柑橘系果汁を振りかけることで、南国らしさが味わえます! 代表的な魚がマグロというのも日本人にとってなじみ深く、刺身以外にもソテーにしたり、グリルにしたり様々な食べ方を楽しめます。他にもパンの実やココナッツなど、現地ならではの食材にもぜひ挑戦してみましょう!



Gift

アミモノ

マーシャルの工芸品「アミモノ」はその名のとおり日本語を由来としています。ヤシやパングナスの葉を丁寧に乾燥させ、なめたものを編んで作られる「アミモノ」は非常に繊細で美しく、太平洋の中でもその品質が高く評価されています。デザイン性の高いアクセサリー、バッグ、壁掛けは土産物としても人気です。



Q マーシャル諸島はサンゴ礁からなる国の一つとして有名ですが、同じ太平洋島しょ国で世界最大の珊瑚礁の島はどこでしょうか。

A 答えは p.28 に!

コラム 1 ビキニ環礁

1946年にアメリカ軍により世界で初めて核実験が実施されたことで有名なビキニ環礁。2010年には「ビキニ環礁核実験場」としてマーシャル諸島で初めて世界遺産に登録されました。訪問するためには専用業者に高額な船か飛行機のチャーターを依頼する必要があります。また、マーシャル諸島の重要な歴史の一つであるビキニ環礁の核実験についてはマジュロ内にあるアレレ博物館でも学ぶことができます。

コラム 2 ウオッチェ環礁

マジュロの北北西300キロにあるウオッチェ環礁は、第二次世界大戦中に日本軍の基地がおかれていました。そのため、現在でも同島には当時の大砲や燃料庫など当時の戦跡が残っており、日本と歴史的なつながりがあることを示しています。美しいビーチがあるほか、周辺のラグーンではシュノーケリングで見ることができる沈船が海底に眠っています。

オンラインコンテンツを楽しもう

さらにマーシャル諸島の情報を知りたい方はこちらのQRコードにアクセス! マジュロの地図から宿泊、体験プログラム、ショッピング、レストランなど各種情報が得られます。

